

理事就任挨拶



理事 當間 隆也

この度、理事に就任いたしましたKukuruきつずクリニックの當間隆也と申します。

琉球大学出身の3期（平成元年卒）、小児科です。

田名会長（当時副会長）から、小児科との橋渡し役になってもらいたいとお声をかけいただき就任の運びとなりました。県医師会活動にほとんど関わったことがありませんので全くの素人です。県医師会がどのような組織でどのような活動をしているのかということさえ理解していない状態ですが、わからないからこそたくさんさんの学びがあると前向きに考えております。

私の役割は当初、小児科医の声を県医師会に届けること、県医師会で議論されている小児に関わることをベテランから若手まで小児科医みんなに伝えることで、県医師会と小児科医の風通しをよくすること、と考えていました。しかし、沖縄の小児科医不足、小児救急体制の崩壊等が喫緊の大問題となっている中、もっと広い視野で沖縄の小児医療を考えていかなければならないと実感しています。また、この問題は小児科だけではなく、多かれ少なかれ他科にも共通の問題であり、成人も含め沖縄の医療体制・質を崩すことなく、どう維持・発展させていけばいいのかという大局的な視点に立ち、解決案を医師会として検討、模索していく必要がある

ことをひしひしと感じるようになっていきます。一小児科医の立場に立ちつつ、医師会員の一人として、県医師会の果たすべき諸問題を考えていく所存です。

医師会全体の問題だけでなく、小児科特有の諸問題についても県医師会で支援すべき事はたくさんあると思います。例えば私は小児臨床遺伝科医で小児在宅医療に関わっていますが、沖縄県の小児在宅医療をもっと充実させる必要があると考えています。沖縄県は日本小児科学会が推奨する小児在宅医療実技講習会が実施されていない10県の中の一つです。運営の母体となる組織がない事が一番の問題と考えていますが、県医師会が母体組織になることで解決できるのではないかと勝手に考えています。他、それぞれの専門分野で、県医師会に協力してほしい諸問題、ご提案があると思います。皆様の声を聞いて拾い上げ、県医師会に届けたいと思いますので、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、若い先生方の参画が必須です。若手の先生方にこそ県医師会の活動を知ってもらい、問題意識を持って考え、意見を表明し、将来を担ってほしいと願っております。私の医師会での活動が若手に繋がるよう真摯に活動していくことを決意表明いたします。

